

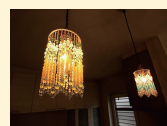
Only style for you

こだわりのお宅、拝見。



Entrance

玄関にはクローク、収納家具、コート等がしまえるクローゼットも配置し、お出かけや帰宅後の動線がスムーズです。



LDK

居室には木肌の表情豊かなカバザクラを採用しました。ペンダントライトや間接照明が空間を優しく演出します。床暖房を採用し、寒くなる季節も快適に過ごせます。

DATA

敷地面積：305.80 m² (92.50 坪)
1 階 : 65.00 m² (19.66 坪)
2 階 : 52.99 m² (16.02 坪)
延床面積：117.99 m² (35.69 坪)
区域 : 市街化調整区域

温かみを感じる やさしい空間の住まい



Appearance

家へと続くアプローチが印象的な佇まい。外壁の質感と色を一部張り分け、柔らかなコントラストが映える外観となりました。



エコカラットを施したニッチ。



自宅周辺の災害リスクを確認しよう

大地震や豪雨、台風など甚大な被害をもたらす自然災害。

関西圏の災害も記憶に新しい今、今一度、災害への備えを改めて確認しましょう。

1 ハザードマップを確認しよう



国土交通省や自治体が発表している「ハザードマップ」には、お住まいの土地にどんな災害リスクがあるか詳しく載っています。「ハザードマップ（お住まいの市町村名）」のキーワードでインターネット検索すればハザードマップが見られます。ハザードマップは市町村の広報紙などと一緒にポスト投函されていたり、役所などでもらえたりする場合があります。大雨や台風による浸水・土砂災害・地震・津波・火山噴火など「自分は無関係」と思わずにいざというときの避難先を確認しておきましょう。

2 災害時の備えに何を確認すればいいの？



ハザードマップで確認しておきたいのは、災害リスクと避難場所・避難ルートです。たとえば津波や洪水などの危険がある場所なら、自宅と周辺の浸水深をチェックして、安全なルートで避難できる「避難場所」と「避難所」を確認しておきましょう。避難場所は「災害が起きたときに迅速に逃げる場所（緊急避難場所）」を指し、避難所は「住居が災害の被害にあって住み続けるのが困難な場合に、しばらく住める施設」を指します。両方チェックして、迅速に避難できるように準備しておくといいですね。

3 いざという時の準備はできていますか？

年々異常気象の発生率が高まっていて、「例年がない」「●年に一度」などといわれる災害が頻繁に起きています。災害用品を置かれている方も多いかと思いますが、中身は確認していますか？今一度備えを見直しましょう。100円ショップで手軽に手に入る様々なアイデア防災グッズがあります。上手く利用して万が一の事態に備えましょう。



100均乾電池セット

つくって
まもろう

NHKは視聴者から募った「防災のアイデア」や「専門家のノウハウ」を厳選し、それらをまとめたサイト「つくってまもろう」と動画を公開。



https://www3.nhk.or.jp/news/contents/bousai_tips/

滋賀の紅葉名所

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ◆メタセコイア並木【高島市マキノ町】 | ◆永源寺【東近江市永源寺高野町 41】 |
| ◆鶏足寺【長浜市木之本町古橋】 | ◆石の寺 教林寺【近江八幡市安土町石寺 1145】 |
| ◆清瀧寺徳源院【米原市清滝 288】 | ◆三井寺【大津市園城寺町 246】 |
| ◆彦根城玄宮園【彦根市金亀町 3-40】 | ◆比叡山【大津市坂本本町 4220】 |
| ◆金剛輪寺【愛荘町松尾寺 874】 | ◆石山寺【大津市石山寺 1-1-1】 |
| ◆西明寺【甲良町池寺 26】 | ◆近江孤蓬庵【長浜市上野町 135】 |

